

# Blists Hill VICTORIAN TOWN

## 翻訳文

### はじめに

ブリスツ・ヒルの大部分は博物館用に再現されたものですが、当時の産業の名残を示す施設や設備もいくつか残されています。1786年、ウィリアム・レイノルズは、コールポートの丘にトンネルを掘って、ブリスツ・ヒル鉱山とセヴァーン川をつなごうとしましたが、トンネルの掘削中に天然ピチューメンを掘り当てました。そのトンネルは「タール・トンネル」と呼ばれ、今も見学することができます。当時は、ブリスツ・ヒルを流れるシュロップシャー運河の工事も行われていました。1793年にはトロッコが完成し、運河の上流と下流の新興都市コールポートを結び、またセヴァーン川にもつながっていました。

レイノルズは、川の輸送システムと、同地域の鉱山と製鉄所を結び付け、ブリスツ・ヒルをさらに発展させました。ブリスツ・ヒルで生産した鉄鉱石は、近くの3つの溶鉱炉で使用されていました。またこの地域ではレンガやタイル用粘土も産出されており、1850年代には、マデレイ・ウッド社が大規模なブロックおよびタイル工場の建設を始めました。1860年代には、市場の町ウェリントンまで電車が開通したため、ブリスツ・ヒルは毎日500人以上が働く活気ある町になりました。



しかし、鉄道の建設により運河の使用が減少したため、好景気は長くは続きませんでした。1912年に溶鉱炉が姿を消すと、それに続いて運河も閉鎖されました。鉱山とブロック & タイル・ワークスは、2度の世界大戦中も営業を続けましたが、1941年の鉱山閉鎖に続

いて、1950年代に生産を停止しました。ブリスツ・ヒルは、1960年代には貨物列車の運行が停止して産業のない町となりました。

1967年、アイアンブリッジ峡谷博物館財団が設立され、1973年にブリスツ・ヒル野外博物館が一般に公開されました。

## タウン (主要アトラクション)

### ロイズ銀行

18世紀には、パークレー家やロイド家などによる銀行業務が発展し、産業への出資を行いました。ブリスツ・ヒル銀行では、今の通貨を当時のコインに両替することができます。このコインは、ブリスツ・ヒルにある商店、工場、パブ「ニュー・イン」などで使えます。

この建物は、セヴァーン川の南側にあるブロズリーの町に現存する銀行を再現しています。この銀行は19世紀後半に、シュロップシャー州初の銀行家ビッカーズ、サン & プリチャードによって建設されました。

銀行員は周囲の尊敬を集め、男性だけに許される職業でした。

### ベイツ・アンド・ハント (薬局)



薬局は、小さな工業都市においてさまざまな役割を果たしていました。店の奥で薬を処方し、正面カウンターでは薬草、既製の医薬品や化粧用具などを販売していました。また医者にかかる余裕のない人たちは薬局でアドバイスを求めました。その他にも、歯医者や眼医者としての役割も果たしており、抜歯まで行う場合もありました。

薬局の店舗を再現し、地元の薬局の名前を付けました。店内の小物類はボーンマスから取り寄せ、瓶やその他の商品はさまざまな店から集めています。

## 食料品店

ここでは、乾物、肉、缶詰、高級嗜好品、ブラシ、調理器具、そして食器一式まで、さまざまな商品が売られています。客の目を引くようウィンドウは美しくディスプレイされています。

## アニー・アープ (菓子)

当時は砂糖が健康に良いと考えられており、リキュール菓子、シャーベット、ケーキなど色とりどりのスイーツが並びます。ディスプレイには、キャドバリー社の当時のパッケージに包まれたチョコレートが飾られています。キャドバリー社は、シュロップシャー州で製造を行い、運河を利用した広大な販売経路を有していました。

## ニュー・イン (パブ)

この 19 世紀のパブは、ウォールソールから移転し、1981 ~ 82 年にかけて再建されました。当時の様子を再現しているため、バーには男性しか入ることができません。女性は、ビール、エール、そしてポーターをパンやチーズと一緒に楽しむことができるタップ・ルームを利用することができます。

## 鋳物工場

小規模の鋳物工場は、ビクトリア時代後期に数多く存在しており、彫刻からドアストップまでさまざまな製品を製造していました。銑鉄は、鉄鉱石を溶鉱炉で溶かして製造します。この鉄をもう一度溶かして鋳型に注ぎ込むと、圧縮に強い鋳鉄になります。アイアンブリッジは、1779 年に、生砂鋳造法により鋳造した 384 トンの鉄を使って製造されました。

ブリスツ・ヒルで使用している工程は、生型鋳造と呼ばれています。鋳型を成型台で作ってから床に置き、床が一杯になったら鋳造を行います。鋳造は通常、週 1 回程度でしたが、人手の揃った工場では 1 日に数回行われていました。

鉄は、鋳物工場裏の背の高い円筒型キューポラで溶解されます。ここから取鍋を使って、溶解鉄を工場内の床に並んだ鋳型に流し込みます。鉄が冷えると、鋳型を壊して鋳物を取り出し、同じ工程を繰り返します。



## J エドマンズ (印刷業者)

ビクトリア時代、町にはポスター、通知、チケット、広告そしてチラシなどの印刷業者がありました。当時は、一つの数字、文字、単位を含むボックスを、上下逆に、そして裏表逆に置いてから、紙を上から押し付けて印刷していました。多くの印刷業者はこれを手作業で行っていましたが、ハワード・ブレムナー社の電気印刷機は一時間に 1,200 枚を印刷することができました。

## トーマス・トレバー (蝋燭工場)

19 世紀には、家庭および産業において、蝋燭の明かりが不可欠でした。この蝋燭工場は、1850 年頃、トーマス・トレバー近郊のマデレイという小さな町に建てられ、ディッピング法による 2 色の蝋燭を製造していました。19 世紀の蝋燭には羊の脂が使用されており、残った脂は豚のえさになりました。

## ステイツチレイ公立学校

1881 年 6 月、地元の学校が開校し、1973 年に閉校しました。学校には教室が 2 つあり、幼い子供たちは小さい教室、年長の子供たちは大きい教室を使いました。授業は、校長先生と教師たちが行いました。当時は、収穫時期には子供たちも労働力として畑で働かなければならず、また通学手段が徒歩しかなく雨がひどいと登校できなかつたことから、欠席する子供が多かつたようです。

建物の外装は、正面のドアのキズで分かるようにレンガで再建されています。

